

芸術ニュースは世界へ発信するワールド・ステージ

週刊 芸術新聞

発行 アグリーシステム 週刊芸術新聞編集部
本社：千葉県茂原市渋谷1016-12 agree@green.ocn.ne.jp
支局：神奈川県小田原市東町1-8-18
ashigara.shinbun@nifty.com

あしがら新聞 インターネット版

あしがらネット

あしがらエリアのニュースをいち早く提供！
http://ashigaranet.com/

「もの」からみる近世 和宮ゆかりの雛かざり

国立歴史民俗博物館

雛かざりの時期、各美術館・博物館では由緒ある「雛人形」が展観できますが、千葉の国立歴史民俗博物館では、「和宮ゆかりの雛飾り」の珍しさが見られる。

和宮所用として 伝来したもの

幕末の動乱期、波乱にと

んだ生涯を送ったことで知られる和宮は、仁孝天皇（にみなさわや）製の各種雛道具、御所人形および三ツ折女として生まれ、「公武合体」の証しとして文久元年（1861）14代将軍徳川家茂（とくがわいえもち）に降嫁した。

今回の特集展示で展示する雛人形・雛道具類（当館所蔵）は、和宮所用として伝来したもので、有職雛（ゆにつれ）と呼ばれる種ものとなり、時代時代の流

類の雛人形と、江戸七澤屋に代入ってから広まりをみる。せ、多くの女性たちの支持を集めた。儀式が定着する文化や工芸技術を伝える資料として貴重なものになって



行を取り入れながら、寛永雛、元禄雛、享保雛、次郎左衛門雛、有職雛、古今雛と俗称される多彩な雛人形や、精巧に作られたミニチュアの道具類が生みだされていった。

『和宮様御雛満留』（宮内庁書陵部蔵）や『静寛院宮御側日記』（同）、『和宮様おひるな御道具』（内閣文庫蔵）などの記録によれば、和宮は、数多くの雛人形を手もとにおき、また上巳にはあちこちと雛人形を贈りあうなど、雛まつりを楽しんでいた。

当館所蔵の雛人形・雛道具はその一部をなしていたと考えられ、江戸時代の文化や工芸技術を伝える資料として貴重なものになって

メモ ◆ 2月14日（火）～3月30日（日）

◆ 国立歴史民俗博物館
（千葉県佐倉市城内町1-17）
TEL 043-486-0123 一般420円 高校・大学生250円 小学・中学生無料 毎週月曜日（祝日にあたる日は翌日を休館日）

次号は 2月13日発行

熱海湾を一望でき、眺望ナンバーワンの美術館
■ MOA美術館（静岡県熱海市桃山町26-2）
電話 0557-842511 一般1600円、高校生以下無料、65歳以上1200円
木曜日休（祝日は開館）
JR熱海駅下車／バス4番のりばMOA美術館行8分

版画でみる20世紀展 ピカソからウォーホルまで 開催中！
■ 諸橋近代美術館（福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峰1093番23）
一般・大学生950円、高校生500円、小・中学生200円*毎週土曜日、小・中学生は無料
電話 0241-371088

森美術館10周年記念展 アンディ・ウォーホル展 永遠の15分

ミスター・ポップ・アート、
国内史上最大の回顧展



「Campbell's Soup」は、1962年に制作された作品で、ウォーホルの「ポップ・アート」の代表作の一つ。この作品は、当時のアメリカ社会における消費文化の象徴として知られている。

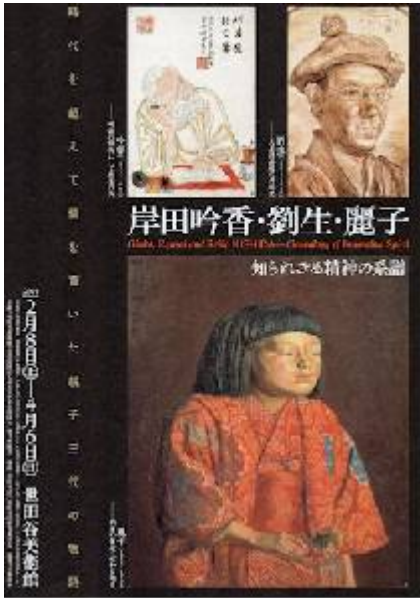
森美術館は、開館10周年記念として2月1日(土)から5月6日(火・祝)まで「アンディ・ウォーホル展・永遠の15分」を開催。ポップ・アートの旗手、アンディ・ウォーホル(1928-1987)は、米国に生まれ、消費社会と大衆文化の時代を背景に、ジャンルを超えたマルチクリエイターとして活躍活躍した、20世紀後半を代表するアーティスト。「キャンベル・スープ缶」など日用品を主題にしたシリーズや「スターの肖像」シリーズなどシルクスクリーンで大

量に複製できる絵画は、美術界に大きな衝撃を与えた。本展は、20世紀アメリカの世相を体現したかのようなウォーホルの作品を、初日から弁円まで包括的に紹介する、日本では過去最大となる回顧展となる。アンディ・ウォーホル美術館(米国、ピッツバーグ)の所蔵品から、絵画、シルクスクリーン、ドローイング、フィルム、彫刻、写真など、約400点の作品を展示。さらに、「タイム・カプセル」と称した箱に収められた、ウォーホルの中から、日本に関する資料を含む約300点を公開。タイトル「永遠の15分」は、「将来、誰でも15分間は世界的な有名人になれるだろう」というウォーホル

世田谷美術館

岸田吟香・劉生・麗子

知られざる精神の系譜



愛娘をモデルとした『麗子』の連作で広く世に知られていく

知られている岸田劉生(1891-1929)は、独自の美を求めて葛藤を重ねた大正洋画壇の異端児であった。その劉生には、傑物ともいべき父がいた。その名は吟香(ぎんこう、1833-1905)。激動の幕末・維新期に、洋の東西を遠く見すえた開明派の文化人として活躍した。そうした父・吟香に劉生がどのよ

うな影響を受け、またその劉生のため幼い頃からモデルをつとめた長女・麗子(1914-1962)が、父の存在をどう受け止めていたのか。本展では吟香関連の稀少資料多数と劉生の代表作を展覧し、また演劇人・画家として生きた麗子の足跡を紹介することで、この岸田親子三代にわたる精神の系譜を探る。量に複製できる絵画は、美術界に大きな衝撃を与えた。本展は、20世紀アメリカの世相を体現したかのようなウォーホルの作品を、初日から弁円まで包括的に紹介する、日本では過去最大となる回顧展となる。

メモ

◆2月8日(土)〜4月6日(日)

◆世田谷美術館(東京都世田谷区砧公園1-2)

TEL03-5777-8600(ハローダイヤル) 一般1200円 65歳以上1000円 大高生800円 小中生500円 毎週月曜日休館(祝日の時はその翌日)

の有名な言葉に由来する。彼の生きた時代は、長い歴史から見れば短い時間だったかもしれないが、その影響は現在、そして今後も永遠に続いていくと言われるでしょう。

メモ

◆2月1日(土)〜5月6日(火・祝)

◆森美術館(東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー53階) TEL03-5777-8600(ハローダイヤル) 一般1500円 学生(高校・大学生)1000円 子供(4歳?中学生)500円 会期中無休

日本の歴史・文化の流れの中から論点を絞ったテーマを選んだ展示

国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市城内町117) 電話03(5777)8600(ハローダイヤル) 一般420円、高校・大学生250円、中学生以下は無料 月曜日休

着物、帯、のれん、屏風、額絵、絵本など多岐にわたる

静岡市立芹沢銈介美術館(静岡市駿河区登呂5-10の5) 電話054(282)522 一般410円、高大生250円、月曜日休

庭園ゾーン 書院ゾーン 体験ゾーン 展示ゾーン

北九州市立小倉城庭園(北九州市小倉北区城内1の2) 電話093(582)2747 会期中無休

辻村寿三郎人形展 平家物語縁起

清盛、その絆と夢

日本を代表する人形師、歴史に翻弄され語り継がれてきた人々の姿を数多く人形に作りあげてきた。



「祇園精」
巻が繰り広げられる。

静岡県の見どころ美術館



「ふるさとへの思い」
静岡市立芹沢銈介美術館

ふるさとへの思い — 芹沢銈介の日本 —

染色家・芹沢銈介は、日本で切り取られたものにもかかわらず、そこには、多くの視点

舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。」で始まる平家物語。主人公・平清盛はまさに驕れる者であり、盛者必衰の理により滅びたのだとされている。しかし寿三郎は、「清盛は日本史上、最も魅力ある人間の一人だ」と言う。「歴史のみが真実ではない」という思いから、綿密な取材を重ね、史実を見つめ直し、そこから見えてきた清盛の姿や彼を取り巻く人間模様を人形に託して、新たな「平家物語縁起」を創り上げた。独自の解釈と豊かな想像力から生まれた人形たちは、知られざる清盛像を見せてくれる。

本展は、寿三郎の集大成とも言える「平家物語縁起」を始め、仏像など渾身の作品を一堂に会した、必見の展覧会と言える。見る者自身の心が映し出されるほど、人の心を持った人形たち。

メモ

◆ 2月16日 (日) ～ 3月30日 (日)

◆ 佐野美術館 (静岡県三島市中田町1-43) TEL 0455-975172
一般・大学生1000円 小・中・高校生500円 毎週土曜日は小中学生無料 毎週木曜日休館

現場で働く人々たちを、型染のモチーフとして数多くとり上げていく。芹沢ならではの視点

の日本人の郷愁をかきたてるなつかしさがある。作家・川端康成は、「芹沢さんの五十年の仕事は世にひろがって、芹沢銈介の日本があると考えるほどになっている」と評したが、まさに芹沢は、日本をつぶさに観察して表現し、自分自身の日本を生み出した人ともいえるでしょう。

メモ

◆ 1月4日 (日) ～ 5月11日 (日)

◆ 静岡市立芹沢銈介美術館 (静岡県静岡市駿河区登呂5丁目10-5) TEL 054-282-5522
一般410円 学生(大学生・高校生)250円 中学生以下無料 毎週月曜日休館

静岡県熱海市のMOA美術館は、展覧会のほかに2月上旬～下旬にかけて「梅の見頃」と、3月下旬～4月上旬に「梅の見頃」として、観光面でも有名となっている。

MOA美術館庭園を無料開放中！ ～4月9日(水)まで

日本の春 梅と桜

の間では、この時期”最高！”となっている。

【展覧会】
美術館では1月1日～1月29日(水)まで広重「東海道五十三次」特別陳列「広重の梅と桜」。

1月31日(金)～3月12日(水)まで国宝「紅白梅図屏風」と所蔵名品展。
3月14日(金)～4月9日(水)まで桜花の宴 重要文化財花見鷹狩図屏風が開催される。

とくに2月は無休で開館しているため、展覧会と花を楽しむのいいかも。



11/18～4/9 庭園を無料開放します。
MOA美術館
JR熱海駅下車/徒歩8分
バスターミナルから徒歩5分

特集

3月21日（金・祝）～4月13日（日）東京藝術大学大学美術館

「観音の里の祈りとくらし展」
—びわ湖・長浜のホトケたち—

PR大使に俳優・滝田 栄さん



東京藝術大学大学美術館 関 出館長



長浜城歴史博物館 太田浩司副館長



東京藝術大学 薩摩雅登教授



良き長浜市を
紹介仕切る

来る3月21日（金・祝）から4月13日（日）まで、東京・上野公園の東京藝術大学美術館で開催され

る「観音の里の祈りとくらし展」びわ湖・長浜のホトケたち」（東京藝術大学、長浜市主催）の記者発表会が行われ、内容が詳細に明らかになった。その大きな目玉として、栄さん伝にひと役買つてでたのが、俳優の滝田栄さん。
「奥琵琶湖」と呼ばれる琵琶湖の北岸では、古くから多くの観音像がお寺やお堂に祀られ、とくに滋賀県長浜市には平安時代の作像が集中している。これらを生み出した古代寺院はすでに廃絶したものも多く、その後は地域の人々によって、大切に、ひそやかに現代まで守り継がれてきた。
今回はこの「観音の里」から約20体の像を迎え、信仰とともに生きる人々の祈りとくらしを迫る。



には、長浜市長・藤井勇治さんはじめ東京藝術大学大学美術館館長・関 出さん、長浜城歴史博物館副館長の太田浩司さん、東京藝術大学教授の薩摩雅登さん、住民を代表して長浜市唐川



「赤後寺」世話役 上松茂樹さん



住民の津田浩子さん

「赤後寺」世話役の上松茂樹さん、津田浩子さんが出席し、長浜の良き観音像などを紹介した。会場では映像も流された。

3月21日（金・祝）～4月13日（日）

東京藝術大学大学美術館（東京都台東区上野公園12-8） TEL03-5777-8600（ハローダイヤル） 一般500円 高校・大学生300円 中学生以下無料 毎週月曜日休館

3月9日までの展覧会予定

美術館・博物館ガイド

東京都内

●東京国立新博物館(平成館)
「クリーブランド美術館 展 名画でたどる日本の美」 2月23日まで
一般1000円 TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 火曜日休館

●東京国立新博物館(平成館)
「人間国宝展 生み出された美、植物の知恵」 2月23日まで 一般1000円 TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 火曜日休館

●国立科学博物館
「大恐竜展 ゴビ砂漠の驚異」 2月23日まで 一般1500円 TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 月曜日休館

●国立西洋美術館
「モネ、風景をみる眼 19世紀フランス風景画の革新」 3月9日まで 一般

●東京国立近代美術館工芸館
「日本伝統工芸展60回記念 工芸からKOGEIへ」 2月23日まで 一般500円 TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 月曜日休館

●江戸東京博物館
「大浮世絵展」 3月2日まで 一般1300円 TEL 03-3626-9974 月曜日休館

●東京ステーションギャラリー
「プレイベート・ユートピア ここだけの場所」 3月9日まで 一般900円 TEL 03-3212-2485 月曜日休館

●山種美術館
「Kawai 日本美術 若沖・栖鳳・松園から熊谷守一まで」 3月2日まで 一般1200円 TEL 03-5777-8600

●講談社野間記念館
「十二ヶ月図の世界展」 3月2日まで 一般500円 TEL 03-3945-0947 月曜日休館

●損保ジャパン東郷青児美術館
「クインテット 五つ星の作家たち」 2月16日まで 一般500円 TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 月曜日休館

●根津美術館
「和歌を愛でる」 2月16日まで 一般1000円 TEL 03-3400-2536 月曜日休館

●Bunkamura ザ・ミュージアム
「シヤヴァンヌ展」 3月9日まで 一般1400円 無休

●泉家博古館分館
「木島櫻谷 京都日本画の俊英」 2月16日まで 一般800円 TEL 03-5777-8600

●練馬区立美術館
「渡辺千尋 復刻の聖母展」 2月9日まで 無料 TEL 03-3557-1821 月曜日休館

●五島美術館
「茶道具取合せ展」 2月16日まで 一般1000円 TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 月曜日休館

●武蔵野市立吉祥寺美術館
「生誕100年 萩原英雄展」 2月23日まで 一般1000円 TEL 04-22-0385

●府中市美術館
「O JUN 描く児」 3月2日まで 一般5700円 TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 月曜日休館

東京郊外

●栗田美術館
「伊萬里焼のかたち うつわの手・足・耳・口」 2月23日まで 一般1500円 TEL 0284-91-1026 月曜日休館

●川越市立美術館
「西洋への憧れ 個のめざめ」 2月11日まで 一般500円 TEL 079-228-8080 月曜日休館

●うらわ美術館
「アートが絵本と出会うとき」 1月19日まで 一般600円 TEL 048-46-5311 月曜日休館

●茨城県天心記念五浦美術館
「花が咲き、鳥は飛ぶ」 2月23日まで 一般600円 TEL 0293-227-8111 月曜日休館

関東南部

●横浜美術館
「生誕140年記念 下村観山展」 2月11日まで 一般1200円 TEL 045-221-0300 木曜日休館

●千葉市美術館
「江戸の面影」 3月2日まで 一般1000円 TEL 043-2221-2311 2/3・10休館

箱根の景観と当館の自慢のスウィーツをお楽しみ下さい

■箱根写真美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300の432) 電話0460(82)2717 一般500円 火曜日休 毎週土曜日は夜5時までオープン

からくり人形など関係資料多数展示中!

■江戸民具街道(神奈川県足柄上郡中井町久所418) 電話0465(81)5339 月曜日休館

ルネ・ラリックの生涯と出会う

■箱根ラリック美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1) 電話0460(84)2255 一般1500円、大学生・高校生・シニア(65歳以上)1300円、中学生・小学生800円 年中無休

Art Topics

第3回 大ネコ展

Art Gallery LOS PINOS & Cafe



060602 | 060462 | 021600

◆ Art Galler
y LOS PINOS
(神奈川県藤沢市南藤沢7)

毎年2月22日(猫の日)開幕の恒例企画展がやってきました。なぜか絵のモチーフにすと「絵になる」猫。各作家さんが色々な表現方法でネコ達を、紙粘土細工、陶芸作品、水彩、版画、ペン画、印刷物、レターセット、ポストカードなどを描いています。



左から東京国立博物館・青窈さん、立博物館で開催される、秋口に九州国立博物館で

特別展 東京と九州の国立博物館で開催 台北 国立故宮博物館展

この夏、台湾の「台北国立故宮博物館展」が、九州国立博物館で開催される。6月24日(火)～9月15日(月)まで東京国立博物館で開催される。秋口に九州国立博物館で開催される。11月30日(日)まで開催する記者発表会が1月29日(水)東京会場となる東京国立博物館で発表された。アジアでも初めてとなる「台北国立故宮博物館展」には多くの作品が注目を浴びている。一番となるのはヒスイでできている究極「神品」など231点で

目からウロコ”の感じの展覧会になる。その展覧会をサポートには歌手の青窈さんが務めることで、一段と盛り上がりを示している。一青窈さんは「なかなか素晴らしい作品があるので、ぜひ足を運んでみては」と、サポート隊として早くも活躍。次号で特集しますのでご期待ください。

国立西洋美術館で開催中の「モネ、風景をみる眼」の「モネ、風景をみる眼」

「モネ、風景をみる眼」
—19世紀フランス風景画の革新—
会期37日目で来場者10万人を突破！

19世紀フランス風景画の革新—の「モネ、風景をみる眼」

（木）について10万人を突破する快挙を遂げた。記念すべき10万人目の来場者となったのは、ソウル出身で練馬区からの来場した主婦の陳昭延（チン・ソヨン）さん（41歳）とその友人。会場入り口で行われた会場入り口で行われた来場者10万人突破記念セレモニーで、展覧会図録と《睡蓮》がプリントされたオリジナルトートバック、会場限定アンリ・シャルパンティエのしあわせサブレッタを国立西洋美術館の馬淵明子館長より手渡された。陳昭延さんは東京の美大で勉強され、その頃は西洋美術館にもよく来たという。「今日は久しぶりに友人と一緒に好きなモネの絵と一緒に見に来ました。モネや印象派の画家が好きです。モネは韓国でも人気なんです。特に睡蓮の絵を見るのが楽しみです」と期待感いっぱい展覧会場へ向かった。

桃の節句展

真鶴町民俗資料館

長い歴史の中で育まれてきた伝統行事の雛祭り。真鶴町の民俗資料館ではお雛様を展示し公開する。



◆「中川一政コレクションの世界」が公開中！中川一政美術館第1、第5展示室（神奈川県足柄下郡真鶴町真鶴1178-1）



町民から寄贈された内裏様と親王様の一對雛人形やこの辺りでは珍しい御殿飾りや雛人形を展示する。いずれも明治に作られた歴史ある雛飾り。貴重な雛飾りをごひ見届けたいものです。

◇展示期間 2月16日(日)～3月30日(日)
◇開館日 土・日・祝日
◇開館時間 午前10時～

◇お問い合わせ 真鶴町教育委員会 教育課TEL 0465-68-1131 内線441

*なお、展覧会は3月9日(日)まで開催されているので、さらなる入場者予想され、どこまで伸びるか期待が込められている。